

## 除草剤の実証性を調査

6月6日(木)、男鹿市五里合の(農)高屋すずらんファームの水田で、協友アグリの除草剤「バッチリ400FG」の散布実証実験が行われ、生産者やJA職員ら約20名が参加しました。

東光鉄工のドローン「TSV-AQ1」を使い、水田1ヘクタールのうち風上側の50アールに2回に分けて1ヘクタール分を散布しました。また、他の水田には参加者が風上側の畦畔から直接撒いて、除草剤の拡散性や作業効率などを調査しました。

参加者からは「一気に除草剤が多く出ないよう袋の口をせまくしてほしい」などの製品化に向けた要望がありました。

除草剤を撒くドローン  
「TSV-AQ1」

## 働き方改革・労働時間管理研修

6月13日(木)、働き方改革と労働時間の管理に関する研修会がJA秋田なまはげ会館で行われ、当JAの役員や管理職の職員が参加しました。

金谷聰特定社会保険労務士を講師に迎え、平成31年4月から順次施行されている働き方改革関連法を中心に、「働き方」が以前からどのように変わったのかを学びました。また、労働時間を適正に管理する重要性や管理職が行うべき措置なども確認しました。

J Aではこれからも役職員への研修や指導により、適正で働きやすい職場づくりに励んでいます。



労働に関する法や適正な  
管理体制について学びました



## NEWS & TOPICS

## いぶきの里運営協議会役員会

6月18日(火)、直売所「いぶきの里」運営協議会の役員会が上北手地区コミュニティセンターで開かれ、会員ら15名が参加しました。

新規会員の加入や出荷品の品質維持対策、7月に開催する周年祭の内容などについて、販売実績や来店者アンケートをもとに話し合いました。

伊藤邦夫会長は「いぶきの里ができてから丸9年が経ち、10年目に入る節目の年。お客様に喜んでもらえるようないものを多く出荷してほしい」と呼びかけました。

直売所の活性化に向けて  
意見を交わしました

## 第32回秋田県JA農業機械大展示会

6月19日(水)から21日(金)の3日間、秋田県立スケート場で第32回秋田県JA農業機械大展示会が開催されました。

会場には最新の農機具およそ500種が並んだほか、営農や資金の相談、密苗講習会などが行われました。スマート農業実演コーナーでは、GPS情報を利用した無人走行トラクターやドローンなど、メーカー各社の最新機種の性能が披露されました。当JAは除草剤などの生産資材を特価で販売し、多くの来場者でにぎわいました。



スマート農業実演コーナーで  
無人走行トラクターの  
実演を見る来場者



直売所の活性化に向けて  
意見を交わしました